



なんぶ

# 議会だより

第34号

平成25年3月議会

発行 平成25年5月1日

## 南部町 25年度の展望

- 67億円の25年度当初予算を可決 2
- 議案審査の結果 5
- 一般質問ダイジェスト 6
- 予算決算常任委員会 10
- 陳情の審査結果 11
- 議会改革調査特別委員会を設置 11
- あとがき 12

★公設民営保育園運営事業

…1億8,020万円

平成24年度から開始した、さくら・つくし保育園の運営委託事業。



★保育料軽減事業……………2,000万円

子育て支援のため保育料を平均20%減額を行う。

★夢に向かって自立する子どもの育成推進事業……………240万円

夢・知・徳・体・家庭教育の5つの視点を中心とした教育施策を展開し、自立する子どもの育成を図る。

質問 事業の内容を具体的に説明を。

今までの事業を夢・知・徳・体・家と1つにまとめ、連携した事業とした。

例>夢→プロのサッカー選手に授業をしてもらう→子どもたちに夢をもたらせる家庭教育の見直しも重点とする。

★法勝寺電車保存修理事業

…2,544万円

西伯小学校に保存、展示されている電車の塗装・改修を行う。



★がんばる地域プラン支援事業

…789万円

地域農業の振興・生産の拡大を図るため、町及び農協の作成する広域プランの支援で活性化を図る。

質問 面積要件や販売要件が高くて、補助対象の条件がきついと考えるが。



回答 販売促進ができるような支援体制をしたい。

★会見小学校芝生化事業… 1,216万円

グラウンドを芝生化し児童の健康増進、健全育成を目指す。

質問 他の学校も行うのか。

回答 年次計画ではない。学校や保護者の思いもあるので、すぐにはとりかかれぬ。

★水道統合事業……………1億2,586万円

朝金から落合浄水場までの送水と馬佐良配水等の更新等、事業実施に対する出資金。

質問 水源の能力、落合浄水場を残す理由は。

回答 水源の能力は1,200㎡/日、落合浄水場は1,400㎡/日で200㎡/日は不足する。3、4水源は残すが1水源はなくす。



★いこい荘管理事業……………1,463万円

★しあわせ管理事業……………3,037万円

各福祉センターを平成21年度から指定管理により実施

★老人福祉施設管理事業(ゆうらく)

…5,733万円

老人福祉施設(ゆうらく)の施設管理を行う。

質問 歳出に負担金、補助金及び交付金とあるが、施設譲渡の議案も必要と思うが。

回答 国からの承認がまだのため提案できなかった。

質問 なぜ町で5,700万円の修繕費を出さなければならないのか。町のメリットではなく、伯耆の国のメリットではないか。

回答 すべてを修繕するものではなく空調設備の一部である。



67億円の25年度当初予算を可決

3月議会は3月5日から22日まで開催され24年度補正予算、25年度予算・条例の改正等が提案されいづれも可決しました。

25年度一般会計予算は総額67億円で前年度に比べ1億7000万円の増額となり合併後最大規模の予算となります。

主 な 事 業

★住宅用太陽光発電システム設置事業

…600万円

太陽光発電システムを設置される方に費用の一部を助成



★自然エネルギー導入促進事業

…200万円

木質ストーブの購入に対する補助



質問 ホームセンター等で購入した場合でも補助の対象となるのか。

回答 その場合でも対象となりますが、町内在住の方で上限が10万円まで。

★空き家一括借上げ事業……………630万円

空き家を10年間借上げ町がリフォーム後、利用希望者を入居させる。

質問 空き家5軒分の予算だがどのように決定するのか。

回答 すでに決定しているのではない、少しずつ可能性を求めていきたい。



質問 借り人がなければそのまま空き家となるケースは考えられないか。

回答 結果的に借り人がなければそのようなケースも考えられる。

★地域振興協議会 会長報酬

…1,081万円

7つの地域振興協議会の会長と副会長の報酬  
会長報酬 97,500円(月あたり)  
副会長報酬 30,800円(月あたり)

★地域振興交付金事業… 5,352万円

地域課題を解決するため設立された協議会の活動支援。



共助交通

★コミュニティバス運行事業… 2,305万円

病院、通学、買物など町民の移動手段として運行し、交通の利便性の確保を図る。



★体験型観光推進事業……………1,220万円

体験型観光への取り組みを開始し、観光振興の体制づくりをおこなう。

質問 体験したいという人へのPR等はどのようにするのか。

回答 町内で個々にやっておられる人もあるが、ホームページを積極的に活用したい。

★みんなで支え合う中山間地域づくり 総合支援事業……………100万円

町内をエリアとして民間業者により開始される移動販売車の支援。

# 議案審査の結果

議案番号	案件名	採決結果
議案第2号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町自然休養村管理センター緑水園)	賛成多数
議案第3号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町林業者等休養福祉施設)	賛成多数
議案第4号	公の施設の指定管理者の指定について(緑水湖教育文化施設)	賛成多数
議案第5号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町バンガロー)	賛成多数
議案第6号	平成24年度南部町一般会計補正予算(第8号)	賛成多数
議案第7号	平成24年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	全員一致
議案第8号	平成24年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全員一致
議案第9号	平成24年度南部町住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	全員一致
議案第10号	平成24年度南部町墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	全員一致
議案第11号	南部町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	全員一致
議案第12号	平成24年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全員一致
議案第13号	平成24年度南部町水道事業会計補正予算(第2号)	全員一致
議案第14号	平成24年度南部町病院事業会計補正予算(第3号)	全員一致
議案第15号	南部町暴力団排除条例の制定について	全員一致
議案第16号	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	全員一致
議案第17号	南部町特別会計条例の一部改正について	全員一致
議案第18号	南部町自然休養村管理センター緑水園管理運営基金条例の一部改正について	全員一致
議案第19号	南部町道路占用料徴収条例の一部改正について	全員一致
議案第20号	南部町病院事業の設置に関する条例の一部改正について	賛成多数
議案第21号	公の施設の指定管理者の指定について(緑水湖湖面利用施設)	賛成多数
議案第22号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町健康増進施設レークサイドアリーナ)	賛成多数
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町農林体験実習館)	賛成多数
議案第24号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町ふれあい広場緑水湖オートキャンプ場)	賛成多数
議案第25号	辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更について	全員一致
議案第26号	平成25年度南部町一般会計予算	賛成多数
議案第27号	平成25年度南部町国民健康保険事業特別会計予算	賛成多数
議案第28号	平成25年度南部町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数
議案第29号	平成25年度南部町介護サービス事業特別会計予算	賛成多数
議案第30号	平成25年度南部町住宅資金貸付事業特別会計予算	賛成多数
議案第31号	平成25年度南部町建設残土処分事業特別会計予算	全員一致
議案第32号	平成25年度南部町墓苑事業特別会計予算	全員一致
議案第33号	平成25年度南部町農業集落排水事業特別会計予算	賛成多数
議案第34号	平成25年度南部町浄化槽整備事業特別会計予算	賛成多数
議案第35号	平成25年度南部町公共下水道事業特別会計予算	賛成多数
議案第36号	平成25年度南部町太陽光発電事業特別会計予算	全員一致
議案第37号	平成25年度南部町水道事業会計予算	賛成多数
議案第38号	平成25年度南部町病院事業会計予算	賛成多数
議案第39号	平成25年度南部町在宅生活支援事業会計予算	全員一致

## ★地域生活支援システムモデル事業 … 200万円

高齢者や障がい者が地域で暮らし続けることができるように、住まいや居場所を確保する。

**質問** 高齢者の方へのケアとしてボランティアの方の資格は必要か。

**回答** 東西町ではヘルパー2級の方が当たる。

**質問** 事業実施のための要綱とかはあるのか。

**回答** 当町が最初であり、要綱自体も柔軟に対応する。

## ★防災行政無線デジタル化改修事業 …4億1,709万円

アナログ無線をデジタル化にする。

**質問** デジタル化に対しての十分な説明がない。どのようなメリットがあるのか。

**回答** 各集会所から放送できるエリアメールを発信できるようになる。聞きのがしても、もう一度聞けるようなシステムも考えている。



## ★全国植樹祭準備事業……858万円

植樹祭に向けて周辺環境の整備や各種準備を行う。

**質問** 経費について、県から要請はあったのか。

**回答** 県から指導要請はあったが、他県の情報を見ながら町としてもてなしを考える必要から計上した。



## 特別会計

### ★太陽光発電事業特別会計 …5億9,005万円

鶴田残土処分場跡地(2.9ha)に太陽光発電所(1.5Mwh)を建設する工事費の計上。

**効果** 売電単価42円/kwhで20年間確約されるため固定した収入が見込まれ、自然エネルギーの補助金等住民への利益還元が可能である。



## ●平成25年度一般会計当初予算に対する

### 反対の意見

無償譲渡を前提とした「ゆうらく」の修繕費の件。振興区の設置条例は自治法に抵触すると考える。同和対策事業は一般施策で行うべきである。

農業施策の充実は大きな課題であるが、町の対策は不十分である。

保育園、図書館の雇用については問題がある。33名いる非常勤職員について正常の状況ではない。正職員とおなじ対応を求める。

また、保育園の民間委託はやめるべき。

### 賛成の意見

防災無線デジタル化事業など将来の姿を想定した予算編成となっている。住民福祉の向上、教育環境充実等に多くの事業が計画されている。「ゆうらく」の交付金5,700万円も空調機器の整備で繰り上げ償還等で一般会計の税金は使っていない。譲渡前の必要な整備と考える。

現在の町財政からみて、非常勤職員での対応は、しかたない。

教育振興基本計画

杉谷早苗議員

定住対策

三嶋義文議員

Q わが町の教育振興基本計画は

A 向こう5年間を見据えた計画

教育長



杉谷 平成十八年の教育基本法の改正に伴い、我が町でも教育振興基本計画の策定に取り組み始めているが、どのように考えているかを問う。

① 充実を図りながら、地域の教育力を活用した学校教育を推進する。  
② 保育園、小学校、中学校及び地域との連携、融合を基軸として、子どもや保護者の生活実態を踏まえた家庭教育を推進する。

興協議会との連携を基軸として、人権が大黒柱のまちづくりに取り組む。以上の基本目標のもと、年次的に具体的事業を展開していくこととしている。

Q 国立音楽院南部校の現状は

A 四月二十七日の開校に向けて準備中

町長



三嶋 国立音楽院南部校が四月に開校の予定で、開校時の学生数は百二十名規模と聞いている。これだけ沢山の学生が町内に来られるこのビッグチャンスを活かして、町も定住促進のための居住環境の整備に努力された。現在の進捗と応募状況について伺う。また、町内に居住希望の方への対応はどのように考えているか。

町長 開校準備室の責任者から、現在四月二十七日の開校に向けて準備を進めていると聞いている。応募状況については、二月上旬で入校志願書が二十名提出され、資料請求は百人以上の方がされている。入学はいつでも出来るシステムなので

今後の応募に期待したい。学生の中には短期や長期の居住を希望する方があり、町としては町内の住宅の情報を提供すること、協力し定住につなげていきたい。  
○その他の質問  
・空き家対策

教育振興基本計画の概要は第一次南部町総合計画基本構想をベースに向こう五年間を見据えた計画としている。  
基本構想を具現化するための基本目標は、  
① 地域に開かれ、信頼され、期待される学校づくりを基軸として特に徳育の

③ 地域新興協議会との連携を基軸として、生涯学習のありまちづくりや、地域づくりを推進する。  
④ 南部町人権会議及び地域振



教育委員会事務局



国立音楽院

再生可能エネルギー

白川立真議員

公民館さいはく分館に

亀尾共三議員

Q 設置目標や普及状況は

A 推進効果は出ているが、さらなる啓発を

町職員の配置を

A 法勝寺地区地域振興協議会が管理

町長



所が完成すれば目標を大きく越える事となる。  
薪ストーブについては、補助金の実績ベースで現在までに十一件の設置があり、これからも薪ストーブの重要性や魅力また薪割りの楽しさを啓発し、バイオマス燃料を使用するストーブの促進に力を注いでいきたい。そして、バイオマス燃料の源泉である森林については、水源浄化機能や雨水

森林の恵みを再認識し森林管理とバイオマスの適正な消費を図り、地球温暖化対策への一助としたい。  
正しい管理保全を図っていきたい。



さいはく分館は法勝寺地区地域振興協議会が指定管理者となつている。公民館は社会教育の場であり、教育委員会が職員を配置して機能を発揮するのではないかと。町民が文化、スポーツなど地域の人の活用の相談に助言ができる主事を置くことを求める。また、さいはく分館の二階には雨もりのためにバケツが数個置かれた現状は「ゆうらく」の修繕より先に、行うべきであることも指摘をしておく。

さいはく分館は、南部町公民館に所屬し、教育委員会が維持管理、運営に当たつている。平成二十三年四月から三年間、法勝寺地区地域振興協議会に指定管理をお願いしている。利用許可、維持管理の業務など、施設の管理運営の一部を実施している。それまで実施していた学級や教室、イベント、学習情報提供や自主的な学びなど、いわゆる公民館活動の部分は同様に行っており、担当職員が業務に当たつ

自前 当町では地球温暖化の二因である二酸化炭素濃度を増加させない対策として、住宅用太陽光発電及び薪ストーブ等を推進しているが、それらの設置目標や普及状況はどうか。

町長 住宅用太陽光発電だが、本町で発生する二酸化炭素排出量を四・九%削減する事を目標に百七十三・五万kWhを導入目標としている。現在までで百二十五件・五十七・八万kWhの実績があり、メガソーラー発電

また災害防止機能も合わせ持つ



薪ストーブ

また、さいはく分館の二階には雨もりのためにバケツが数個置かれた現状は「ゆうらく」の修繕より先に、行うべきであることも指摘をしておく。

公民館さいはく分館



公民館さいはく分館

Q 株式会社役員人事は

A 町長として人事



町長

財団法人地 域振興会を、 株式会社緑水園に法 人登記が変更された。 町民にとっては十分 な説明がない中で、唐 突に物事が進められ ているとの声が聞かれ る。株式会社にした 経過について説明を 求める。役員人事は どのようにされたの か。専務取締役が議 員が就任しているが 法律上問題はないか。 株式会社経営計画 と定款を町民に説明 するべきではないか。

町長

財団法人の 事業を継承す る法人を株式会社と した理由は、公益法 人改革三法が施行さ れ、従来の財団法人 は平成二十五年の十 一月末までに、公益法 人一般財団法人、そ の他の法人のいずれか を選択しなければな らなかった。公益法人 は公益事業支出を二 分の一以上 することが 要件で、一般 財団法人 は収益を 分配するこ とができず、 株式会社 を選択し た。役員は 起人である

町長

町を代表する町長が 人事をおこなった。議 員が専務取締役に就 くことは問題ない。経 営計画は適正と確認 している。定款開示は 株式会社よりされる ようお願いする。

Q 施設無償譲渡が先にありきでは

A 土地売却にあわせて町が提案



町長

土地譲渡の 結果が二月二十二 日付で通知されてい る。監督官庁である 県当局と指導を受け る「伯耆の国」のやり 取りなので議場でそ の内容について議論す ることにはならない。 「ゆーらく」 土地売却は建 物無償譲渡が先にあ りきだ。なぜ今譲渡 しないといけないのか、 これまで二転三転す る答弁だ。 県が公表している 社会福祉法人指導監 査では、「伯耆の国」 に対して、役員報酬や 土地の新規購入など 重要案件が評議員会 の意見を聴かず理事 会で決定しているこ と、法人としてある特 定の理事を介して不 適切な支出があると して、知事への見舞金 等をあげている。 「伯耆の国」の運営 導監督があり、

町長

土地譲渡の きっかけは、南 部箕蚊屋広域連合が 決めた「伯耆の国」を 事業主体とするグル ープホームの建設だ。 「伯耆の国」からは自 らの土地に建設した い旨申し入れがあり、 妥当と考え土地の売 却を決定した。あわ せて土地と建 物の一体管理の 観点からゆー らく施設につい ても無償譲渡 で引き受けて くれるよう提 案した。 昨年十一月五 日に県から「伯 耆の国」への指 導監督があり、



株式会社 緑水園

町を代表する町長が 人事をおこなった。議 員が専務取締役に就 くことは問題ない。経 営計画は適正と確認 している。定款開示は 株式会社よりされる ようお願いする。

Table with 2 columns: 文書指図書事項 and 改善状況報告. It lists document review items and improvement status reports.

Q 買い物弱者対策

米澤睦雄議員

Q 安心・安全のまちづくり

秦 伊知郎議員

Q 移動販売補助事業の進捗状況は

A 四月八日から開始



町長

町内の集落 を対象に、日常 の買い物が困難な方 の生活支援に、新規に 移動販売事業を始め る事業者に補助事業 として、県補助金五 百万円を町を通じて 交付する補正予算が 十二月議会で可決さ れた。町内には、既に 独自に移動販売に取 り組んでいる事業者 があるが、まだ移動 販売の空白地帯もあ り、町内の買い物困 難な方には大変喜ばし いものである。この事 業の進捗状況と今後 の支援について伺う。

町長

米子市内の 民間事業者が 町内の集落を対象に、 食料品や生活物資を 巡回販売するもので、 現時点では、四月八日 から開始すると聞い ている。巡回は、日曜 日を除く週六日間、 商品は一般食品、生鮮 食品、日用雑貨など の生活必需品五百品 目を取り扱う。商品 の販売のほかに、巡回 エリアでの見守り活 動の計画もあ り、町・県・事 業者の三者で 協定を結ぶこ とになっている。 現在、既存の 移動販売事業 者と巡回集落、 巡回日の重複 を避けるため

米子市内の 調整を行っている。事 業開始五年後には黒 字となる見込みの収 支計画書が提出され ており、運営補助金 終了後の赤字は想定 しにくい、いよいよ 赤字が続く、運行で きなくなるといふこ とになれば、相談に応 じたい。

A 整備計画の実現に努力する

町長



国道・県道 国道 治山、治 水事業の推進につい て、 道の整備計画。 三、法勝寺川の改修、 整備の状況。

調整を行っている。事 業開始五年後には黒 字となる見込みの収 支計画書が提出され ており、運営補助金 終了後の赤字は想定 しにくい、いよいよ 赤字が続く、運行で きなくなるといふこ とになれば、相談に応 じたい。 ○その他の質問 ・空き家対策



移動販売車(ローズちゃん号)

町道 治山、治 水事業の推進につい て、 道の整備計画。 三、法勝寺川の改修、 整備の状況。



国道180号線 福成橋

# 陳情の審査結果

## ●総務経済常任委員会

件名及び要旨	提出者(敬称略)	採択結果	可否の理由
<b>陳情第13号</b> 南部町議会の更なる情報公開を求める陳情	まちづくりを考える住民の会 南部町馬場 長尾 るり子 南部町円山 池田 和子	継続審議	なんぶ SAN チャンネル(担当:企画政策課)との調整や近隣市町村の議会放送における情報公開の現状調査の必要もあり、継続審査に至った。
<b>陳情第16号</b> 島根原発1号機・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情書	反核・平和レレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 小谷 明寛	趣旨採択	
<b>陳情第17号</b> 原子力から再生可能エネルギーへのエネルギーへの転換を求める陳情書	反核・平和レレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 小谷 明寛	採択 意見書提出	
<b>陳情第2号</b> 「母塚山観音」の町有地への建立という不正常的な状態の変更を求める陳情	南部町阿賀 石口 俊亮 南部町馬場 真壁 紹範	不採択	(賛成意見)陳情の理由もその通りだと思う。不正常的な状況を改善すべきだ。 (反対意見)寄付者からの善意をいただき町は活用し、まちの景勝地として「母塚山」の活性化を期待する。
<b>陳情第3号</b> 安倍内閣にTPP(環太平洋連携協定)への参加断念を求める意見書の提出を求める陳情	農民運動鳥取県連合会 今本 潔	採択 意見書提出	

## ●民生教育常任委員会

件名及び要旨	提出者(敬称略)	採択結果	可否の理由
<b>陳情第12号</b> 消費税増税の中止を求める陳情書	米子市民商工会 会長 足川 晴雄	不採択	(反対意見)消費税の増税は所得格差を拡大させる。 (賛成意見)社会保障費のための増税である。
<b>陳情第1号</b> 年金2.5%削減中止を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部委員長 増田 修治 西部支部長 松本 正孝	趣旨採択	

## 議会改革調査特別委員会を設置

「地域主権時代」に対応した議会の活性化を調査及び研究するため議会改革調査特別委員会が設置されました。

委員会構成は、委員長 景山 浩、副委員長 板井 隆 他全議員(14名)で構成されます。

### 《調査及び研究事項》

- (1)議会のありかたについての調査及び研究
- (2)委員会の構成等についての調査及び研究
- (3)住民説明会における資料及び回答についての調査及び研究
- (4)上記に定めるもののほか議会の活性化に資する調査及び研究

### Q 最初から流れの説明を

### A 補助金返還のない無償譲渡を

町長



「ゆうらく」

の無償譲渡については、昨年からは、議会答弁で詳しくのべているが、去年からの土地譲渡問題、これは昨年の三月議会で議決している。この「ゆうらく」の土地売却、無償譲渡の件は十年、二十年先を見込んだ施策だと考える。再度最初から流れの説明を求める。

町長 伯耆の国よりグループホームを建設したいので土地を買わせてほしいと申し出があった。土地と建物は一体が良いとの考えで、土地の有

償譲渡の議案が議決された。伯耆の国は元々担保物件がなかったたので、この土地を担保に金融機関から借り入れをされグループホームを建設された。建物を有償譲渡すれば国・県の補助金返還が起る。町は施設の建設に一般財源を使用していないので、無償譲渡しても負担はない。伯耆の国は地方償還額相当額一億八千三百万円を二十三年に寄付した。土地代一億七千万円の支払いをされ地



ゆうらくの改修

方償金額を払える以上のお金を町に支払った。これでゆうらく建設に税金を使っていないと言ったことは完了した。有償譲渡によつて国・県の補助金を返還することは町民の損失であり、補助金返還のない無償譲渡をすすめるものです。

○その他の質問  
・教育方針

## 会期中に予算決算常任委員会で現地調査を行いました

●25年度予算審議にあたり関連施設等を視察しました。



☆日南町旧石見東小学校跡地に昨年十一月に完成した「石見東太陽光発電所」の現地調査

●現在、修繕工事が進む、伯耆の国「ゆうらく」の現状と、25年度予算に提案された空調設備等の状況を確認しました。



◀約6,700㎡の敷地内に1,428枚の太陽光パネルが設置されていました。(発電量は約340kwh)

# なつかしの 我が校舎

## 秦 豊さん談

西伯小学校に統合される前の天津小学校の校舎を法勝寺川方面から望んだ写真です。木造の古いけれども玄関の破風に彫刻が施されているなど重厚な校舎でした。

ちょうど正面に写っている職員室があった建物と教室だけの建物が直角に接するところに少し広い空間が

あり、休み時間にみんなで集まって、学年を越えて何をするとはなしにワイワイやっていたのを思い出します。



旧天津小学校

## 表紙写真

### 母塚山から望む 手間田圃と大山



国生みの女神、イザナミ命の墓所であるとのいわれがある母塚山の頂上から右下には赤猪岩神社、正面に手間集落、そして遠くに大山を望む雄大な景色が広がります。写真中央に見える三崎集落の名前の由来は、古事記に記された大国主命の頃にはこの地が入り江の岬であったからとのこと。遠い神代の時代、曲がりくねった海沿いの街道がこのあたりを通っていたのでは・・・と想像力を膨らませれば、大きな袋を肩に担いだ大国主の姿が見えてくるかもしれません。

## あとがき

◆このたびの三月議会では、平成二十五年度の南部町の進路を定める予算が決まりました。全ての議案が原案通り可決されましたが、その実施方法については、予算決算常任委員会において多くの意見が出されました。今後は議会としてどのように予算が執行されていくのかを注意深く見守っていかなければなりません。

さて、先日新聞紙面に、二〇四〇年の鳥取県的人口が二〇一〇年の四分の三に減少するという予測が発表されていました。

十年ほど前に、人口が減ると一人当たりの利用可能な国土面積や資源が増えることとなるので、人口減少も悪くないという意見が出されていたのを覚えています。しかし、それから人口が減った自治体は数知れませんが、人口が減って地域が発展したという話はいずれも耳にしません。町としても議会としても人口問題に本腰を入れる時期に来ています。